

団体名	成城大学						
事業名	東京2020オリンピック・パラリンピックで国際交流～使える英語はこう学ぶ！～						
実施期間	2019年9月21日、11月9日、11月16日、11月29日						
場 所	成城大学(9月21日、11月9日、11月29日)、世田谷区民会館(11月16日)						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	74	9	111	86	20	1400	1700名

<実施内容>

本事業は、2020年に開催されるオリンピック・パラリンピックを通して、訪日外国人とコミュニケーションを深め、外国人と共存・共生しやすいグローバルな日本社会への転換について考えるきっかけとなる事を目的に計画したが、以下の理由で当初の目的を十分達成できたと考えます。

まず、フェーズⅠでは、ダニエル・カール氏の経験に基づいたエピソードを通し、外国人が戸惑う日本語について、コミュニケーションの方法、文化的違い、独特な言語についての考察があったが、ユーモアあふれる軽妙な語り口で参加者の絶賛を受けました。また、その後のワークショップでは、留学生と日本人学生、世田谷区地域住民が英会話で交流しました。このインプットとアウトプットを通して、参加者が外国人とのコミュニケーションや異文化理解を考える機会を提供できたと考えます。

また、フェーズⅡでは、世田谷区と協力し「せたがや国際ラウンジ」を成城大学で開催。地域住民に対して、留学生が毎日の生活を送るうえで困る日本語について発表を行ったうえで、「外国人にもわかりやすく、コミュニケーションが取れる表現とは？」という内容で話し合い、日本人の気付かない日本語の難しさと、異文化コミュニケーションの理解を深めることができました。

フェーズⅠとⅡを通して留学生と日本人学生が学んだことを、フェーズⅢではクイズ形式で発表を行いました。これらのイベントへの参加を通して、留学生達はさらに日本文化への理解を深め、帰国後においても日本に関する貴重な情報発信主体となる事が期待されます。

<記録写真>



ダニエル・カール氏



世田谷区民と交流する留学生



日本語について語る留学生

<参加者からのコメント>

アンソニー・ミラーさん(米国)/Anthony Miller

I like that local people made the efforts to come to the event encouraging interaction with foreign visitors. Mr. Daniel Kahl's speech was very interesting. It was very great and helpful event for international students and English learners.

M.Sさん(日本)

海外の方のためにわかり易い日本語や英語を使うことの大切さを再認識しました。和気あいあいとした交流が出来て楽しかったです。これからは外国人の方と恥ずかしがらずに接してゆきたいと思いました。長年成城に住んでいますが、地域住民にこのような講演会を開放していただき感謝しています。